

岡山学院大学・岡山短期大学  
令和元年度 FD・SD ワークショップ実施報告



日 時： 令和元年 12 月 26 日（木） 9：10～15：00  
 場 所： 岡山学院大学・岡山短期大学 情報処理教育センター D302  
 評 価 員： 九州情報大学・山口短期大学 麻生隆史 理事長・学長  
 オブザーバー 九州情報大学 麻生尚寛 副理事長

時 間	内 容
9：10～10：10	岡山短期大学幼児教育学科 報告 1. シャトルカードの活用法 2. 授業アンケート（自由記述への対応、改善案等） 3. 授業参観について 4. 外部評価（地域・高大接続連携校） 5. 汎用的学習成果のエビデンス 6. 学習成果に関するアンケート（平成 30 年と令和元年の比較） （15 分の質疑応答含む）（質疑応答後 5 分休憩）
10：20～11：20	岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科 報告 1. シャトルカードの活用法について 2. 授業アンケートの活用（自由記述への対応、改善案等）について 3. 栄養長寿教室等活動の取り組みと見直しについて 4. 就職先訪問の改善への取り組み 5. 外部評価の実施（地域の評価者による）（15 分の質疑応答含む） （質疑応答後 5 分休憩）
11：30～12：30	岡山学院大学・岡山短期大学事務部 報告 令和元年度も議長（学長）のもと、計 6 回 SD 会議を実施した。第 1・3 回はオープンキャンパスについて行った。第 1・2・4 回は、今年度岡山短期大学で認証評価を受験することもあり、多くは短期大学認証評価に関する内容となった。第 5・6 回については、今年度のワークショップに向けて、各部署の業務内容における前年度ワークショップの発表内容に続き、今年度実施状況、自己評価や次年度に向けた改善案等（PDCA）について行った。今年度も各学科の教員が数名参加のもと実施した。 第 1・2 回目は、短期大学認証評価の自己点検・評価報告書の提出に向けて

	<p>役割・スケジュールの確認、内容の校正及び意見の交換を行った。第 1 回目では、上記の他にオープンキャンパスについて各役割・新たな試みの確認を行った。</p> <p>第 3 回目では、実施したオープンキャンパスのアンケートを昨年度と比較し、振り返りや改善点の検証等の意見交換を実施した後、職員使用 PC の Windows10 へのアップデート方法について、説明を受けた。</p> <p>第 4 回目では、短期大学認証評価の訪問調査に向けて、確認事項や評価のポイントについて、学長より説明を受け、当日のスケジュール確認を行った。</p> <p>第 5・6 回目では、各部署の昨年度取組における課題・改善案の今年度実施状況、自己評価や次年度に向けた改善案等（PDCA）について、部署ごとに各自発表を行い、全員で分析し、修正点を確認後、ワークショップの発表に向けて発表の形式の確認を行った。</p> <p>今年度の事務職員は、昨年度自部署での観点を記入し、課題と評価を行い、自己点検評価した内容について引き続き今年度の実施状況、自己評価や次年度に向けた改善案等について報告した。</p> <p>（15 分の質疑応答含む）</p>
12:30~13:30	昼休憩
13:30~14:30	<p>講演：中教審議題「地域における高等教育機関と大学間の連携の在り方について」</p> <p>ガバナンス連携による地方大学の機能強化～ 大学等連携推進法人を活用した国公立大学の連携 ～</p> <p>めぶく。プラットフォーム前橋 地域人材の育成・定着に向けた産学官連携基盤推進協議会</p> <p>大学等連携推進法人(仮称)のイメージ</p> <p>講師：九州情報大学・山口短期大学 理事長・学長 麻生隆史 先生</p> <p>これからの大学連携について 60 分間の詳しい説明を得た。</p>
14:30~14:45	<p>講演に対する質疑応答</p> <p>大学等連携推進法人はハワイ大学機構のようなイメージかとの質問に対して「まだ全容は示されていない。これから注視する必要がある。」などの応答があった。</p>
14:45~15:00	<p>総括（学長 原田博史）</p> <p>令和元年度の FD・SD ワークショップは、大学・短期大学・事務部ともに中身の濃い報告であった。</p> <p>従って新たな課題の発見について改善を速やかに図るよう全力を挙げてほしい。</p> <p>麻生先生の講演により、高等教育のグランドデザイン答申の具現化の進捗状況も分かってきたので、本学も Society5.0 に対応した人材養成を図る教育課程を構築して行きたいと述べ、改めて感謝の意を表した。</p>